

【統一様式】

資料 1 - 1

菊池地域医療構想調整会議

# 菊陽台病院が担う役割について

令和6年3月 菊陽台病院

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状】

- 理念 人道に基づく的確な医療を目指します

- 基本方針

地域の医療福祉に貢献します

医療の質の向上に努めます

信頼と安全の医療を提供します

# 1 現状と課題

## ● 沿革

1977年 7月 菊陽台病院開院(病床数78床) 開設者 田中 孝明

1979年 4月 病床数140床に増床

1990年 7月 訪問看護サービス開始

1994年 1月 デイケアサービス開始

1999年11月 居宅支援事業所サービス開始

2009年 6月 通所リハビリテーション新棟竣工

2009年11月 病床数139床

(一般32・亜急性期10・療養(医療)43・療養(介護)50・ショートステイ4)

2015年 2月 病床数139床(一般32・亜急性期10・療養(医療)47・療養(介護)50)

2021年 4月 病床数124床(一般25・地域包括ケア10・療養(医療)39・療養(介護)50)

2024年 3月 病床数74床(一般25・地域包括ケア10・療養(医療)39) 介護医療院50床)

# 1 現状と課題

## ● 施設概要

### 1. 病床

一般病床	25床
地域包括ケア病床	10床
医療療養病床	39床
(介護医療院	50床)

### 2. 職員数(令和6年2月現在実人数)

区分	医師	看護・介護職員	他専門職員	事務職員	計
常勤	5	83	18	10	116
非常勤	5	10	2	0	17
計	10	93	19	10	132

# 1 現状と課題

## ● 診療実績(令和4年度)

### 1. 届出入院基本料

地域一般入院料1	(3病棟 35床のうち25床)
地域包括ケア入院医療管理料4	(3病棟 35床のうち10床)
療養病棟入院基本料1	(1病棟 39床)
介護療養型医療施設療養機能強化加算A	(2病棟 50床)

2. 外来患者総数 22067人

3. 入院患者総数 34501人

### 4. 平均在院日数

3病棟	約18.6日(一般)	33.9日(地域包括)
1病棟	約416.9日	
2病棟	約507.8日	

### 5. 病床稼働率

3病棟	75.7%(一般)	86.7%(地域包括)
1病棟	79.8%	
2病棟	83.5%	

# 1 現状と課題

## ● 当院の特徴

- 当院は、地域密着型のケアミックス病院です。

一次救急から、入院治療、退院後の在宅医療や介護支援まで、  
地域住民の医療・介護・福祉に多角的に対応しております。

- 内科・整形外科・リハビリ科を主な診療科としたプライマリーケア

入院病床は、回復期、慢性期の機能が中心

高度で専門性の高い疾患は高次医療機関へ紹介し、加療後は迅速なお受入れを心がけております。

- 地域連携室 居宅介護支援事業所

地域の保健、医療、福祉の連携を推進

- 在宅部門

訪問看護・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション・居宅介護事務所を設置

また、療養病棟や訪問看護では、ターミナルケアや看取りにも取り組んでいます。

地域患者様の疾患や、患者様とご家族の幅広いニーズに対応出来るよう尽力致します。

# 1 現状と課題

## ● 当院が担う政策医療

5疾病のうち、主に3疾病に取り組んでおります。

がん	拠点病院から御紹介頂いた患者様への対応 外来経過観察 定期検査 訪問看護 通所リハビリテーション Back bedとしての一般/地域包括病床機能 入院や在宅によるターミナルケア
脳卒中	急性期/回復期加療後の患者様のお受け入れ、身体機能改善やADL維持のためのリハビリ継続 慢性期の患者様の療養病床や介護医療院でのお受け入れ 介護支援専門員と連携し、入院から在宅まで切れ目のないリハビリテーションの実施 (通所/訪問リハビリテーション)
急性心筋梗塞	-
糖尿病	外来定期観察 定期検査と投薬調整 栄養指導 教育入院の実施 高齢患者のsick dayにおける緊急入院のお受け入れ (在宅、施設等) 近隣医療機関との連携パスの運用 訪問看護による内服/インシュリン投与や食事指導管理 など
精神疾患	(認知症)

# 1 現状と課題

## ● 当院が担う政策医療

5事業のうち、主に1事業に取り組んでおります。

救急医療	一次救急医療機関として救急医療の提供及び紹介患者に対する医療の提供 整形外科、内科疾患を主とした一次救急、二次救急の受け入れ 内科、整形外科の外来担当医によるウォークインや救急搬送への対応 地域の高齢者や心疾患、骨折、肺炎、併存症や合併症を有する患者等、 入院加療を要する患者様のお受け入れ 居宅介護、訪問看護スタッフからの紹介救急患者への対応 地域の医療機関や施設からのご紹介への対応 かかりつけ患者やご家族、地域住民からの電話相談への対応、お受け入れ
災害時における医療	-
へき地医療	-
周産期医療	-
小児医療	-



# 1 現状と課題

## ● 当院が担う政策医療 その他の事業

### 在宅医療

- ・ 訪問看護ステーション (24時間対応)  
症状観察 内服管理 清潔ケア 医療処置 在宅リハビリ 介護相談  
院内他職種との連携 → 担当患者の入退院支援
- ・ 訪問リハビリテーション  
自宅退院後のリハビリ継続 通院が困難な患者へのリハビリ提供
- ・ 訪問診療  
通院困難な患者への医療サービスを提供
- ・ 居宅介護支援事業所  
患者主体の地域医療連携を実践していくために、各地域の基幹病院および  
医療・介護・福祉施設との連携
- ・ 地域連携室  
入退院支援 他事業所との連携 在宅復帰支援強化

# 1 現状と課題

## 【自施設の課題】

当院は、回復期機能を中心とし、急性期・回復期・慢性期・在宅医療・介護を行う地域密着型の病院です。

プライマリケア及び一般急性期への対応を継続しながら

予防から在宅まで包括的に医療を提供することが、当院の課題です。

- 急性期から回復期、維持期の退院にむけた治療を行い、在宅・生活復帰のための支援
- 介護・福祉との連携を強化し、地域包括ケアシステムを推進
- 介護及び在宅医療のニーズが高まっており、訪問看護、訪問リハビリテーションの充実を。
- 地域人口の増加に伴う、住民や企業の健康診断の増加への対応
- 医療従事者の確保

## 2 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

- 回復期機能の強化

高次医療機関治療後や術後患者の早期受入れ、回復期・維持期として自宅退院までのリハビリテーションを行い、在宅復帰に寄与。

地域の医療機関、診療所、介護施設等との連携を図り、積極的な入院のお受け入れを。

急性期治療後の回復期や、ご自宅、施設等での対応が困難な慢性期患者様の転院お受け入れ

- 在宅復帰支援強化

附属施設である居宅介護支援所、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション

退院後の在宅支援 退院後も患者様とご家族が安心して過ごせる体制作り

患者状態増悪時は当院で入院加療を行い、在宅復帰を目指す。(在宅医療支援としての開放型病床)

- 予防医療 健診、予防接種等の充実

地域のニーズに応じて、予防医療や健康教育などの取り組みを行い、住民の健康促進を支援

- 新型コロナウイルス感染症への対応

発熱外来継続 診療・検査・医療 入院お受け入れ

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(令和5年)	2025年(令和7年)
高度急性期	-	-	-
急性期	42床	-	-
回復期	-	35床	35床
慢性期	97床 (医療療養47床/介護療養50床)	89床 (医療療養39床/介護療養50床)	39床
その他	-	-	介護医療院50床
合 計	139床	124床	74床

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【① 4 機能ごとの病床のあり方 その2】

##### □ 回復期

- 2018年度の地域医療構想調整会議での計画に沿い、  
2021年4月から急性期一般病床42床から回復期35床に  
転換、削減しております。

##### □ 慢性期

- 2018年度の地域医療構想調整会議での計画に沿い、  
2021年4月から医療療養病床を47床から39床に削減  
しております。
- 介護療養型医療施設廃止に伴い、  
2024年3月から介護医療院に転換致します。

### 3 具体的な計画

## (1) 今後提供する医療機能に関する事項

### 【②診療科の見直し】

	現時点 (2024年2月時点)	2025年	理由・方策
<b>維持</b>	内科 消化器科 胃腸科 循環器科 呼吸器科 神経内科 整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科 皮膚科	内科 消化器科 胃腸科 循環器科 呼吸器科 神経内科 整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科 皮膚科	地域のかかりつけ医としての 機能を維持するため、 左記診療科を継続致します。
<b>新設</b>	-	-	-
<b>廃止</b>	-	-	-
<b>変更・統合</b>	-	-	-

### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(2024年 2月時点)	2025年
①病床稼働率(%)	一般病床 75.6% 地域包括病床 80.0% 医療療養病床 79.8%	一般病床 84.0% 地域包括病床 90.0% 医療療養病床 84.6%
②紹介率(%)	15.4%	20.0%
③逆紹介率(%)	22.1%	25.0%

# 3 具体的な計画

## (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

### 【取組み】

- 地域の患者様への外来診療の維持/強化

新型コロナウイルス感染症患者診療 発熱外来 検査 入院お受け入れの継続

- 地域の健康診断や職場検診への対応強化

- 一次救急症例の積極的な受け入れ

- 紹介・逆紹介の調整徹底による新規入院患者、初診患者への対応

- 地域医療連携室を軸とした組織強化による円滑な入退院支援及び転院調整

地域の医療、介護、福祉施設等との連携を推進、紹介患者の速やかなお受け入れ

- 在宅医療の充実

患者、家族、在宅医療チームとのコミュニケーションと調整

医療、看護、リハビリ、介護、介護調整を包括的に

緊急事態発生時に速やかな対応を行うための体制整備

在宅看取りでの家族に対する支援体制の充実



# 3 具体的な計画

## (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

### 【課題】

- 患者状態に応じた適切なベッドコントロールにより、限られた病床を有効に活用
- 医師の働き方改革
  - 働きやすい職場環境を整えるため、ソフト/ハード面の見直し、調整、更新への継続的な取り組み
  - デジタル化、IT化による業務の効率化
  - 他職種とのタスクシフト、タスクシェアによる適切な役割分担と統合
  - 医師確保及びシフト勤務や短時間雇用の活用
- 医療従事者の確保
  - 職員の処遇改善、勤務環境改善への継続的な取り組み
  - 各職種の人材確保及び育成
  - ホームページやハローワークでの求人情報掲載 求人広告誌への掲載 紹介業者を活用した採用
- 教育、研修体制の充実
  - コロナ禍で困難となっていた研修会や講習受講の再開
  - 認定看護師、特定行為看護師等研修への支援
  - 職場体験や実習の積極的な受け入れを継続